

# 視察研修

## 産業建設常任委員会

平成21年11月12日、13日 徳島県三好市

**第3**セクター「株式会社山城もくもく」は、合併前の旧山城町で設立。資本金3億600万円、社員構成は男子16名・女子4名の計20名、事業内容は『国産材3層クロスパネル』および間伐材をブ

**農**園付住宅「三好タウン愉快流里」は、遊休農地の解消ということで、くわ畑の一部を農地転用し、「山城もくもく」で生産した『つみきブロック』を使用し建設しています。

ロック型に加工し組み合わせる『つみきブロック』などの生産を行っています。

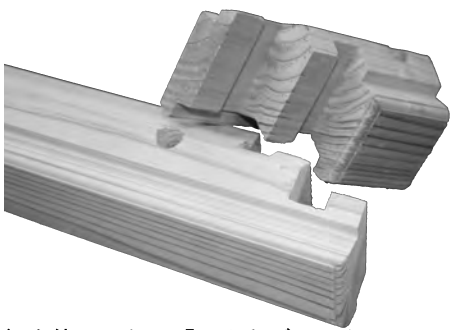
住宅は、滞在型11区画と分譲型10区画があり、開設して1年で、すべて入居が決まり、現在、入居待ちの状態です。

**経**営状況は、年々厳しくなっており、このようなことから、現在、プロジェクトチームを作り、第3セクターを再生していく活動を実施。販売経路の拡大を目指しています。

滞在型の利用料は、1区画月5万円、契約は1年単位、最長で5年間更新可能です。農業の指導は、地域の農家にお願しており、健康面などについても相談窓口を設置しています。

困塊の世代の方々やUターン者へ、田舎暮らしの良さを提供できるようなま

ちづくりを行う必要があることを実感しました。



釘を使用しない「つみきブロック」

滞在型の利用料は、1区画月5万円、契約は1年単位、最長で5年間更新可能です。農業の指導は、地域の農家にお願しており、健康面などについても相談窓口を設置しています。

## 議会運営委員会

平成21年10月14日～15日 長崎県島原市・大村市



**島**原市議会には、議員数23名で10党派があり、議会運営委員会は、会派から選出された6名の委員で構成されています。

政務調査費は、一人年間18万円。また、議会中継については、ケーブルテレビ、インターネット、FMラジオで放送されており、ケーブルの加入率は、70パーセントを超えています。

**突**起する事例として議会市民座談会の開催があり、市民参加に基づく「開かれた議会づくり」を目的に開催しています。

**大**村市議会には、議員数25名で7党派があり4つの常任委員会を設置、政務調査費は、一人年間30万円です。

平成21年4月に議会基本条例を施行し、その中で、議会および議員の活動を明確に標記し、合わせて「市民との関係」「市民と議会の集い」などを条例化しています。

今後の課題は、条例の理念を議会および議員一人一人がいかに実践していくかにあると提言しております。

**こ**の研修で議員、議会の資質向上を目的として、活動および役割を明確にすべき必要性を感じました。



島原市議会での研修風景

# 総務常任委員会

平成21年10月20日～21日 広島県安芸高田市



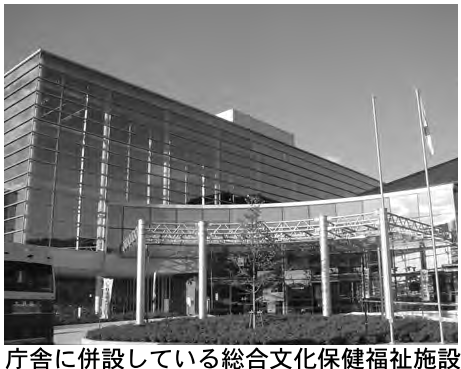
**安** 安芸高田市の庁舎建設は、132平方メートルです。施設を別々に整備することの経費や市民の利便性などを比較・検討し、市民の意見を聞くとともに、議会の承認を経て複合施設として一体的に整備することを決定しました。建設工期は一年七ヶ月で、平成19年11月に完成しました。

**主** な施設は300人規模の会棟および蔵書数約5万冊の図書館、生涯学習センター、735席の文化ホールなどがあり、総延べ床面積は83億円、合併特例債約37億円、建設基金8400万円、省エネルギー助成金など5180万円、一般財源は167万円となっています。起債償還は平成34年に完済予定です。

**事** 業費総額は約41億円で、財源内訳は、県支出金約3億円、合併特例債約37億円、建設基金8400万円、省エネルギー助成金など5180万円、一般財源は167万円となっています。

**豊** 後大野市の庁舎建設に向けては、市民の意見を十分に取り入れ、環境に配慮した低コストで効率性のあ

る施設を望むものです。



庁舎に併設している総合文化保健福祉施設

# 厚生文教常任委員会

平成21年11月18日～19日 福岡県八女市・佐賀県唐津市



七年生から中学生になります

**福** 岡県公立八女総合病院は、一部事務組合で地方公営企業法全部適用により、企業長が経営責任を負っています。

医師の給与については、業務評価を取り入れた年俸制としており、そのことにより、モチベーションが高まり、効率的で質の高い医療が展開され、経営の安定が図られるものと考えています。

**ま** た病院は、典型的な労働集約型産業であり「職員からも選ばれるための経営展開」をすることが、人的資源を確保する重要な手段だと考えています。

**佐** 賀県唐津市立七山小中一貫教育校です。小中学生が一緒に学校生活を送る学校。

・小中学校の先生が一緒にいる学校。  
・九年間のスパンで教育できる学校。

この特色を生かした学校づくりを行っています。メリットとして、

・各学年の子どもたちが一緒に活動することの相乗効果で、それぞれの年齢の子どもたちの心の安定につながっている。

・授業交流を通して、いろいろな指導方法に関わることで、教師の資質の向上が図られる。

・子どもの成長の過程を見ながら指導することで、小学校の積み上げや中学校での流れなど、九年間のつながりが理解できるようになった。

デメリットはないとのことでした。